

わくわく

11月号

本だな

1 2 3 年



えほん



E 『 スノーウィとウッディ 』

ロジャー・デュボアザン／さく 石津ちひろ／やく 好学社  
シロクマのスノーウィがおっこちたのは、すやすやねむる、ヒグマのウッディの上。2 ひきが野原でとつくみあいをしていると、ハンターのヘリコプターの音が聞こえます。茶色いウッディは、真っ白で目立つスノーウィに急いでおおいかぶさりました。

K913 『 しぶがきほしがきあまいかき 』

石川えりこ／さく・え 福音館書店  
しぶがきの皮をむいて、お日様にいっぱいあてると、あまいほしがきになります。ちえちゃんは、長い竹を使ってかきとりにちょうせん。小さいナイフでかきの皮をむき、ハンガーにつるします。そろそろ食べごろという夜、かきどろぼうがやって来ました。

ものがたり



ものがたり



K913 『 ゆるびーくんえんそくにいく 』

斉藤洋／さく 武田美穂／え ほるぷ出版  
ゆるびーくんは、森に住むふしぎな生き物です。今日は人間の子どもたちとバスに乗って、みずうみのほとりへ向かいました。ゆるびーくんは、ビヨーンとのびるあみでざりがにをつかまえます。「ゆるびーっ！」とさけぶと、ざりがにが大きくなって……。

ちしきのほん

E 『 きんぎょびじゅつかん 』

松沢陽士／写真 高岡昌江／文 ほるぷ出版  
人が色や形を楽しむため、フナを作りかえた魚が金魚です。赤だけではなく、黒、金、チョコレートみたいな茶色もあります。おびれがハートの金魚、大きさが40センチをこえる金魚、ピンポン玉のように丸い金魚。お気に入りの1匹を見つけよう！



わ く わ く

11月号

本 だ な

4 5 6 年



物語



K933 『ハヤクさん一家とかしいねこ』

マイケル・ローゼン／作 トニー・ロス／絵

ないとうふみこ／訳 徳間書店

ハヤクさんちのお父さんとお母さんは、いつもあわてています。今朝はねぼうしたので、大急ぎで会社へ行きました。息子を学校に送りわすれたままで。

それを見ていたねこのトラーは、「何かぼくにできることはないかな？」と考え、いいことを思いつきました。窓から外へ出ると、においをたどってお父さんを追いかけます。

物語

K913 『昔はおれと同年だった田中さんとの友情』

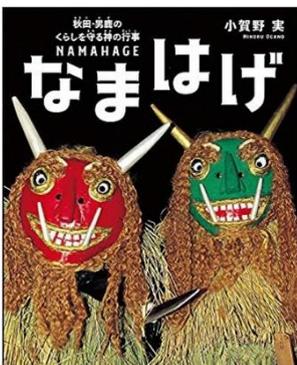
榎月美智子／作 早川世詩男／絵 小峰書店

拓人が神社でぐうぜん出会った、管理人の田中さん。おじいちゃんなのに、拓人のスケボーに乗りたいたと言います。けれども足を乗せた瞬間、転んで手首を骨折してしまいました。

拓人は境内そうじやこたつの片付けなど、けがをした田中さんを手伝います。いつもおだやかで聞き上手な田中さんは、拓人と同年のとき、空しゅうで家族と家をなくしていました。



ちしきの本



K386 『なまはげ 秋田・男鹿のくらしを守る神の行事』

小賀野実／写真・文 ポプラ社

なまはげを知っていますか？鬼のような顔をして、「泣く子はいねが一！」とさけびながら、包丁をふりまわすくなまはげは、年に1度、山からやって来る神さまで。2018年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

この本の著者・小賀野さんが、35年にわたって大みそかの男鹿半島でさつえいしたなまはげは、はくりよく満点です。

図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200